

市長への手紙

－市民の意見箱－

件名	ご意見・ご提案	回答	担当課
だんご屋さんを残してについて	醤油だんごとお茶餅は盛岡ならではのものだと思います。是非だんご屋さんを残してほしいです。	市では、特産品振興の施策として、盛岡の価値や魅力を市内外に発信しうる商品等を盛岡ブランド品として認定し、物産展等において重点的に周知しているほか、盛岡市特産品振興協議会を設置し、特産品の販路拡大に向け、製造者間の団結を促す基盤作りに取り組んでおります。これらの取組への参加を促すとともに、盛岡菓子匠組合においても、盛岡べんじえものクラブとしてパンフレットやのぼりを作成するなど自らP R活動に取り組んでおり、盛岡で育まれてきた食文化の一つとして、支援に引き続き取り組んでまいります。 また、市では、観光デジタルマップを作成しており、その中ではモデルコースも紹介しております。このような既存のツールを有効に活用するなど、盛岡の餅菓子の効果的な宣伝方法についても検討してまいります。	商工労働部 ものづくり推進課
小学校でのマスク着用について	運動会で、マスクを着けて競技に参加する児童がいました。熱中症の危険があると思うので、暑い時期はマスクを外すよう、各小学校や中学校に通知を出してはいかがでしょうか。	児童のマスク着用については、「学校における新型コロナウイルス感染症対策に関する衛生管理マニュアル（2023.5.8～）」に基づき、「児童生徒及び教職員に対して、マスクの着用を求めないことが基本とされていること」、「基礎疾患があるなど様々な事情により、感染不安を抱き、マスクの着用を希望したり、健康上の理由により着用できない児童生徒もいることなどから、そういった者にマスクの着脱を強いることのないようにすること」について、学校に対して通知しております。 また、学校教育活動等における熱中症事故の防止のため、「体育の授業、運動部活動の活動中、校外での活動等、特に熱中症のリスクが高いことが想定される場面では、児童生徒に対してマスクを外すよう指導すること」、「様々な理由からマスクの着用を希望する児童生徒に対しても適切な配慮が必要となるが、その場合にも、熱中症対策を適切に講じること」等の留意事項について指導しているところです。 これからの季節、更に気温や湿度、暑さ指数が高くなることが予想されることから、今後、学校に対して、熱中症対策に係る注意喚起の通知を発出することとしております。	教育委員会 学校教育課
上田小学校のトイレについて	上田小学校のトイレを洋式にしてほしいです。	学校施設のトイレの洋式化への取組につきましては、本市においても喫緊の課題と捉えており、「盛岡市有公共施設トイレ環境整備計画」（計画期間は令和元年度から令和7年度まで）を策定し、築年数の古い施設から、老朽化の状況を考慮し、校舎及び体育館のトイレ改修に取り組んでいるところです。 上田小学校校舎のトイレの洋式化につきましては、令和7年度までの計画には位置づけられておりませんので、令和8年度以降の工事実施に向け検討を進めているところであり、それまでの間、御不便をお掛けしますが、御理解と御協力をお願いいたします。	教育委員会 総務課

市長への手紙

－市民の意見箱－

[illegible]

市長への手紙

－市民の意見箱－

[illegible]

市長への手紙

－市民の意見箱－

件名	ご意見・ご提案	回答	担当課
盛岡の観光資源に提案について	馬産郷（くに）岩手の観光として、年に一回のチャグチャグ馬コだけでいいのでしょうか。ロンドンのような馬車や騎馬警察の景色が盛岡にもあればいいと思います。	御提案のとおり、馬文化が根付いている海外の都市の雰囲気は確かに素晴らしいものがあると存じます。当市での実現に当たっては、騎乗側のスキル不足や馬の手配、市街地における馬糞処理など課題も多いことから、貴重な御提案として受け止めさせていただきます。	交流推進部 観光課
図書館の蔵書について	リニューアルした市立図書館に行ったところ、とても綺麗になっていましたが、本は新しいものが少なく、前の古い図書館とあまり変わっていないように感じました。蔵書も是非新しいものを増やしていただきたいです。	市の図書館３館（盛岡市立図書館、盛岡市都南図書館及び盛岡市洺民図書館）では、市民の生涯学習を推進する中核施設として、市が定めた資料収集方針等に基づき、図書館資料の収集や整備に努めています。 市立図書館は約218,000冊の図書資料を所蔵し、毎年度約4,000冊の一般書及び児童書を購入しておりますが、リニューアルオープンした市立図書館を多くの方に御利用いただくとともに、市民の教養の向上を図り、読書や学習活動等を支えるために、今後も様々なニーズに対応した図書館資料の収集や整備に努めていきたいと存じます。	教育委員会 市立図書館
マンション建設について	これまで親しんできた景観、文化、歴史などは、長い間、盛岡市民の共通意識でつくられ守られてきたものだと思っていますが、それをマンション建設によってあっさりと壊されてしまうことに、行政はストップをかけられないのでしょうか。 周辺の環境の価値は盛岡市民、皆のものだと思うので、盛岡の良さを壊さないように市としても何とかしてほしいと思います。	市は、地域の特性を生かしたまち並みの形成や山並みの眺望の確保など自然環境と歴史的環境とが調和した盛岡らしい景観の形成を図るため、市内全域を景観計画区域に指定し取組を進めております。更に重点地域として中津川を含む河川景観保全地域では、対岸からの圧迫感を低減するため、範囲を定めて高さを制限しておりますが、今回のマンション建設計画は、中津川に近い部分を駐車場にし、マンション本体を高さ制限を受ける範囲外に配置していることから、盛岡市景観計画に適合しているものとなります。 高層マンション等の建築物は、地域の居住人口の増加につながる一方、周辺の環境に影響を及ぼす側面もあり、特に、歴史的な佇まいが残るエリアにおいては、景観との調和について課題があるものと認識しております。 今後は景観計画による制限だけではなく、地域の実情や特徴を踏まえたきめ細やかな対応も必要と考えておりますことから、住民の意見をお聴きしながら、都市機能の確保とバランスのとれた景観形成を図ってまいりたいと考えております。	都市整備部 景観政策課

市長への手紙

－市民の意見箱－

2024年 6 月分

件名	ご意見・ご提案	回答	担当課
子どもの遊び場について	盛岡には、公園はたくさんありますが、夏は暑すぎ、冬は雪が多くて遊べないので、室内で遊んだり食事を食べたりできて、駐車場がある遊び場を増やしてほしいです。	市では、盛岡バスセンター内に設置している「子育て支援センターあそびの広場」など、主に就学前までの子どもと保護者を対象とした施設のほか、児童センター・児童館では、主に小学生が利用する時間帯以外の平日の午前中や日曜日等において、地域のサークル活動等の予約も入っていない場合は、親子の遊びの場として御利用いただけるよう運営しています。 また、令和5年4月に供用開始した「きたぎんボールパーク」には「キッズスタジアム」など屋内外の子どもの遊び場を併設しており、令和7年春に開業を予定する「道の駅もりおか渋民」にも、屋内の子どもの遊び場を併設する予定となっています。 しかしながら、子どもの遊び場や駐車場の整備につきましては、市が子育て世代を対象に行ったアンケート調査等におきましても、更なる充実を期待する御意見をいただいておりますので、この度の御意見も参考にして、子どもの遊び場の充実を図るための施策について検討してまいります。	子ども未来部 子ども青少年課
公園のボール遊びについて	近くの公園では、ボール遊びが禁止されています。ボール遊びができる、高いネットを張った公園を作ってほしいです。	公園の整備や利用のルール作りに当たりましては、地元町内会と相談しながら進めております。市内にある全ての公園をボール遊び禁止とはしておりませんが、地元町内会からの御意見を基に禁止としている公園も多くあります。 また、高いネットを張ることにつきましては、現状では予算の都合上難しい状況です。 御不便をおかけしますが、より多くの皆様に快適に過ごしていただきたいと存じますので、何とぞ御理解くださいますようお願い申し上げます。	都市整備部 公園みどり課
車いすを利用している障がい者へのサポートについて	自走式の車いすをもっと機能的なものに変えるなどして、障がい者の生活の質を上げられないでしょうか。	御提案の障がい者の生活の質の向上と障がい者の自立への支援についてですが、市は、身体障害者手帳をお持ちの方を対象として、補装具費支給制度により、自走式や電動式の車椅子の購入又は修理、借受け費用の支給を行っており、原則1割の負担で行うことができます。購入については耐用年数の制限がありますが、修理については必要な都度申請いただけるものです。 この補装具費支給制度は、日常生活において、又は就労もしくは就学に必要な不可欠な補装具の購入等の費用について、その大部分を公費で負担するセーフティーネットともいえる制度です。 市は、本人が希望する補装具について聞き取りし、医師、補装具業者、理学療法士、作業療法士等との連携を図りながら、本人の身体状況、年齢、生活環境等、補装具が使われる諸条件を整理した上で、県の設置する更生相談所に補装具の専門的な判定を受けており、真に必要な補装具の支給が行われるよう、また、同等安価の原則を踏まえた、公平・適切な支給が行われるよう努めているところです。 また、身体障害者手帳を交付する際には補装具費支給制度を含め、今後必要になると思われる制度についてまとめた冊子により説明をしておりますが、引き続き諸制度の周知に努めてまいります。	保健福祉部 障がい福祉課

市長への手紙

－市民の意見箱－

件名	ご意見・ご提案	回答	担当課
運転技師職員の見直しについて	運転業務に従事する職員の数を見直すべきだと思います。大型特殊車両の運転、操作を行う人と、一定の役職以上の専属運転手以外は削減し、一般職員が運転することで、財政の健全化が進むのではないのでしょうか。	運転業務に従事する職員につきましては、市長など特別職の車両の運転業務や、特殊車両・大型バスの運転業務、公用車の配備のない職場の職員や運転免許を有しない職員、運転が不慣れな職員が利用する庁内共有車両の運転業務などを行っており、最低限必要な人数を配置している状況であります。 また、各部署に配備している車両の運転業務につきましては、普通自動車は環境衛生員、土木技士及び造園技士等が運転技士を兼務して運転を行っており、軽自動車は事務職等の職員が自ら運転して業務を行っております。 今後におきましても、毎年度、各部署の業務量や公用車の利用状況を確認し、必要な見直しを行いながら、適正な人数の配置に努めてまいります。	総務部 職員課
生ごみ処理機の助成金について	岩手県のほかの自治体では生ごみ処理機の助成金がありますが、盛岡市にはありません。生ごみ処理機があれば生ごみを出す量も減るので、購入の助成金を出してほしいです。	当市では、現在、生ごみ処理機の購入助成制度はございませんが、市では誰でも気軽に実施できる、生ごみの水切りを推奨しているほか、市ホームページでは、市民の皆様の生活環境や目的にあった、様々な生ごみの減量方法を紹介しておりますので、参考としてください。 生ごみ減量方法の紹介 https://www.city.morioka.iwate.jp/kurashi/gomi_recycle/genryo_recycle/1001543.html なお、御不明な点がございましたら、右記の担当までお問い合わせいただきますようお願いいたします。	環境部 資源循環推進課
フリースクールの支援について	フリースクールの利用には、利用金額がかかり、親の負担が大きいです。他の県や自治体では費用負担をするところもあると聞いたことがあります。学校に行けない子どもは年々増えていると聞いています。また、中学生は高校生と違い、通信教育もないので逃げ場がなく、どこを頼れば良いのか難しい状況だと思います。財政の問題もあると思いますが、盛岡市でもフリースクールに対する支援を検討してほしいです。	フリースクールの利用支援につきましては、他の自治体の取組状況等を参考にしながら検討しているところであり、現時点では、支援制度などは予定していないところで なお、教育委員会におきましては、不登校児童生徒の学びの場として、教育支援センター「ひろばモリーオ」を設置しています。「ひろばモリーオ」は青山教室と仙北教室の市内2か所に設置しており、利用料金は無料です。「ひろばモリーオ」では、児童生徒が、自分で学習内容を計画して取り組み、個別学習やグループ学習、体育的活動等の中で、一人一人の状況に応じた支援を行っておりますので、御紹介いたします。詳細につきましては、教育委員会にお気軽にお問合せください。	教育委員会 学校教育課

